

地方独立行政法人堺市立病院機構 第3期中期目標・第3期中期計画（案）

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）
<p>目次</p> <p>前文</p> <p>第1 中期目標の期間</p> <p>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 市立病院として担うべき医療</p> <p>2 生活習慣病への対応</p> <p>3 患者に寄り添った信頼される医療の提供</p> <p>4 地域への貢献</p> <p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>1 効率的・効果的な業務運営</p> <p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 安定的な経営の維持</p> <p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 環境にやさしい病院運営</p>	<p>目次</p> <p>前文</p> <p>第1 中期目標の期間</p> <p>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 市立病院として担うべき医療</p> <p>2 生活習慣病への対応</p> <p>3 患者に寄り添った信頼される医療の提供</p> <p>4 地域への貢献</p> <p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>1 効率的・効果的な業務運営</p> <p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 安定的な経営の維持</p> <p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 環境にやさしい病院運営</p>
<p>前文</p> <p>地方独立行政法人堺市立病院機構（以下「病院機構」という。）は、平成24年4月に設立され、堺市の医療施策として求められる救急医療及び高度医療等を提供し、医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与することを目的として市立堺病院を運営してきた。</p> <p>第2期中期目標期間においては、堺区南安井町にあった市立堺病院を移転し、平成27年7月、西区家原寺町に堺市立総合医療センターを開院した。同センターでは、堺市で初となる救命救急センター</p>	<p>前文</p> <p>地方独立行政法人堺市立病院機構は、「すべての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します。」との基本理念のもと、市立堺病院を運営してきた。</p> <p>第2期中期計画では、堺区南安井町にあった市立堺病院を移転し、平成27年7月に西区家原寺町に堺市立総合医療センターを開院し、堺市で初となる救命救急センターを設置するなど、市民の生命と健康を守る医療拠点として生まれ変わった。開院後は、各分野で更なる質の高い医療の提供に取り組み、堺市における中核病院として、地域の医療機関と役割分担を行いながら、安定的かつ継続的な医療の提供に取り組んできた。</p> <p>経営面においても、平成27年度の病院建設により悪化に転じた経営状況であったが、</p>

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）
<p>を設置し、市内の救急告示病院との役割分担のもと、救急医療提供体制の構築に取り組んできた。医療サービスの提供に関しては、さまざまな変化に対応しながら、堺市における中核病院として、質の高い医療を安定的かつ継続的に提供し、業務運営に関しては、平成27年度の病院建設により悪化に転じた経営状況を、効率的・効果的な病院運営により段階的に改善してきた。</p> <p>堺市の医療を取り巻く環境としては、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年を見据え、医療と介護の連携と地域医療構想を踏まえた病床機能の分化、加えて、働き方改革など、社会情勢の変化への対応が求められている。</p> <p>第3期中期目標の策定にあたっては、このような社会情勢の変化に対応し、救急医療及び高度医療等を提供する高度急性期及び急性期機能を担う病院として地域医療機関との役割分担のもと包括的な医療サービスを提供し、市民の健康の維持や健康寿命の延伸などに寄与するとともに、市民に信頼される病院として、人材育成に努め、法令遵守に基づいた効率的・効果的な病院運営を行うことを期待する。</p> <p>これらのことを踏まえ、ここに病院機構に示す基本的な方針として第3期中期目標を定める。</p>	<p>効率的・効果的な病院運営により、収支改善に繋げることができ、安定した経営基盤の早期確立を実現した。</p> <p>今後は、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年を見据え、引き続き、医療と介護の連携と地域医療構想を踏まえた病床機能の分化が求められており、1施設で完結する病院完結型医療から医療・介護の連携を強化した地域完結型医療が必要となっている。加えて、働き方改革をはじめとする社会情勢の変化への対応などの多岐にわたる課題に直面しており、病院運営にあたっては、更なる厳しい状況が予想される。</p> <p>第3期中期計画では、これらの課題に対し救急医療及び高度医療等を提供する高度急性期及び急性期機能を担う病院として地域医療機関との役割分担のもと包括的な医療サービスを提供し、持続可能な質の高い医療提供体制を構築するとともに、市民の健康の維持や健康寿命の延伸などに寄与することをめざし、ここに第3期中期計画を定める。</p>
<p>第1 中期目標の期間</p>	<p>第1 中期計画の期間</p>
<p>中期目標の期間は、令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。</p>	<p>中期計画の期間は、令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。</p>

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）																		
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項																		
1 市立病院として担うべき医療	1 市立病院として担うべき医療																		
(1) 救命救急センターを含む救急医療	(1) 救命救急センターを含む救急医療																		
<p>ア 市内、唯一の救命救急センターの円滑な運営に努め、二次救急で対応が困難な重篤な患者に対して、24時間365日、三次救急医療を提供すること。</p> <p>イ 市内の救急告示病院との適切な役割分担のもと、24時間365日、二次救急医療体制の維持に取り組むとともに、二次・三次の一体的運用による救急医療の中核的役割を果たすこと。</p> <p>ウ 堺市消防局の救急ワークステーションとの連携によりメディカルコントロール体制において中心的な役割を果たすこと。</p> <p>エ 夜間・休日精神科合併症支援システムを活用し、精神科合併症救急患者を受け入れ適切な医療提供につなげること。</p>	<p>ア 救命救急センター部門は、厚生労働省の示す評価項目の更なる強化を図り、質の高い三次救急医療を提供する。</p> <p>イ 二次救急医療施設として、地域完結型医療を推進し、救急医療の最後の砦として「断らない救急」をめざす。また、ER化による総合的な救急医療の提供をめざし、市民の生命と健康を24時間365日守る。</p> <p>ウ メディカルコントロール体制において指導的役割を担うとともに、救急ワークステーションと一体になって効果的な病院前医療体制の充実を図る。</p> <p>エ 夜間・休日精神科合併症支援システムを活用する等、精神科合併症救急も含めた総合的な救急医療を提供する。</p> <table border="1" data-bbox="1025 805 2040 994"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺市管内救急搬送カバー率</td> <td>17.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急搬送応需率</td> <td>78.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三次救急搬送応需率</td> <td>91.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1025 1042 1778 1182"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送受入件数</td> <td>9,439件</td> </tr> <tr> <td>うち入院件数</td> <td>3,512件</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標	堺市管内救急搬送カバー率	17.1%		救急搬送応需率	78.0%		三次救急搬送応需率	91.0%		関連指標	平成30年度実績	救急搬送受入件数	9,439件	うち入院件数	3,512件
目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標																	
堺市管内救急搬送カバー率	17.1%																		
救急搬送応需率	78.0%																		
三次救急搬送応需率	91.0%																		
関連指標	平成30年度実績																		
救急搬送受入件数	9,439件																		
うち入院件数	3,512件																		

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）														
<p>(2) 小児医療</p> <p>地域医療機関との連携と役割分担に基づき小児医療を提供するとともに、小児救急医療については、初期救急医療を担う堺市こども急病診療センターや他の病院群輪番病院との連携と役割分担のもと、24時間365日、二次救急医療体制を確保すること。</p>	<p>(2) 小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関との連携及び役割分担を図り、質の高い小児医療を安定的に提供する。 小児救急医療については、堺市こども急病診療センターや他の小児二次救急医療機関等との連携強化を図り、24時間365日、持続可能な小児救急医療体制を整備し、外因性疾患を含めた総合的な小児二次救急医療を安定的に提供する。 小児の虐待や貧困事例等について、関係機関と連携し、適切に対応する。 <table border="1" data-bbox="1025 467 2042 560"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児救急搬送応需率</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1025 611 1778 799"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児救急搬送受入件数</td> <td>1,750件</td> </tr> <tr> <td>うち外因性疾患受入件数</td> <td>448件</td> </tr> <tr> <td>CAPS対応件数</td> <td>73件</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標	小児救急搬送応需率			関連指標	平成30年度実績	小児救急搬送受入件数	1,750件	うち外因性疾患受入件数	448件	CAPS対応件数	73件
目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標													
小児救急搬送応需率															
関連指標	平成30年度実績														
小児救急搬送受入件数	1,750件														
うち外因性疾患受入件数	448件														
CAPS対応件数	73件														
<p>(3) 周産期医療</p> <p>地域医療機関との連携と役割分担に基づき周産期医療を提供するとともに、二次・三次の一体的な運用を活かし、緊急的に対応が必要な出産前後の方に対して適切な医療を提供すること。</p>	<p>(3) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関との連携及び役割分担のもと、市立病院として、周産期医療を安定的に提供し、安心して子どもを産み育てられる地域作りに貢献する。 <table border="1" data-bbox="1025 1091 1778 1184"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>319件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	分娩件数	319件										
関連指標	平成30年度実績														
分娩件数	319件														

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）						
<p>（4）災害・感染症・その他緊急時の医療</p> <p>ア 災害その他緊急時には、災害拠点病院として、堺市地域防災計画等に基づく対応を行うとともに、自らの判断で医療救護活動を実施すること。また、大規模な災害や事故の発生に備えた訓練の実施と物資の備蓄等を行うこと。</p> <p>イ 第一種及び第二種感染症指定医療機関として、感染症患者の受入体制の維持、感染症に関する関係法令や市の計画などに基づく適切な対応など、地域の感染的確症医療における中核的な役割を果たすこと。</p>	<p>（4）災害・感染症・その他緊急時の医療</p> <p>ア 大規模災害時には災害拠点病院として、堺市地域防災計画に基づき関係機関と連携、協力を図りながら、患者の受入れや医療スタッフの派遣等を迅速かつ的確に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時にも継続して医療を提供できるよう、平時から各種訓練の実施及び災害対策マニュアルの点検や必要物品等の備蓄確認を徹底し、災害に備えた万全な体制を維持する。 <p>イ 新興感染症発生時には、第一種及び第二種感染症指定医療機関として、行政や地域医療機関との連携を図り、速やかな患者の受入れ体制の整備を図る。また、非常時にも継続して医療が提供できるように、感染部門と救急部門とが密に連携し、受入れ訓練を行うなどパンデミックに備えた万全な体制を維持する。</p> <table border="1" data-bbox="1025 619 1780 759"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害研修・訓練回数</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>DMA T資格保有者数</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	災害研修・訓練回数	20回	DMA T資格保有者数	31人
関連指標	平成30年度実績						
災害研修・訓練回数	20回						
DMA T資格保有者数	31人						
<p>2 生活習慣病への対応</p>	<p>2 生活習慣病への対応</p>						
<p>（1）がんへの対応</p> <p>がんは、市民の疾病による死亡の最大の原因であり、その対策が市民の生命及び健康にとって重大な問題となっていることから、科学的な知見に基づく適切で良質な医療提供を行うこと。また、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の質的向上に努めるとともに、地域の医療機関と連携し、がん相談や情報提供を行うこと。</p>	<p>（1）がんへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域がん診療連携拠点病院として、科学的な知見に基づき、手術、放射線療法、化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、集学的治療のみならず、緩和ケア、がんリハビリテーション、遺伝子診断を含めた個別化治療の充実を図り、個々の患者の病態に即した全人的医療の提供に努める。 ・ トータルケアの充実に向けて、がん患者に対する相談支援・セカンドオピニオンおよび情報提供を積極的に行い、がん患者の療養生活の向上を図る。 ・ 地域の関係機関と連携、協力し、切れ目のない継続したがん診療の提供に努める。 						

第3期中期目標（案）

第3期中期計画（案）

目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標
悪性腫瘍手術件数	1,291 件	
放射線治療件数	7,913 件	
化学療法実施患者数	2,537 人	
がん登録件数	1,878 件	

関連指標	平成30年度実績
緩和ケアチーム介入件数	562 件
がんリハビリ実施件数	3,875 件
がん相談件数	4,419 件
セカンドオピニオン対応件数	
当院から他院	57 件
他院から当院	31 件

（2）高度・専門医療の包括的提供

ア 心疾患、脳血管疾患の治療については、地域の医療機関との連携及び役割分担のもと、救命救急センターを有する施設として必要な高度専門医療を提供すること。

イ 糖尿病の治療については、食事、運動、薬物療法により適切な医療提供を行うこと。

（2）高度・専門医療の包括的提供

ア 心疾患、脳血管疾患の治療については、地域の医療機関と連携のもと、24時間体制で受入れができるよう体制を充実させ、早期治療及び高度専門医療を提供する。

イ 糖尿病については、地域の医療機関で役割分担を明確にした循環型システムの構築をめざし、地域全体で安定した医療を提供する。

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）																							
	<table border="1" data-bbox="1025 172 2042 411"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管内手術件数</td> <td>47件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>心大血管手術件数</td> <td>77件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冠動脈インターベンション件数</td> <td>251件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>糖尿病透析予防指導管理料算定件数</td> <td>458件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1025 459 1778 692"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t-PA件数</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>在宅自己注射指導管理件数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>糖尿病患者のうち在宅自己注射指導管理割合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標	脳血管内手術件数	47件		心大血管手術件数	77件		冠動脈インターベンション件数	251件		糖尿病透析予防指導管理料算定件数	458件		関連指標	平成30年度実績	t-PA件数	14件	在宅自己注射指導管理件数		糖尿病患者のうち在宅自己注射指導管理割合	
目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標																						
脳血管内手術件数	47件																							
心大血管手術件数	77件																							
冠動脈インターベンション件数	251件																							
糖尿病透析予防指導管理料算定件数	458件																							
関連指標	平成30年度実績																							
t-PA件数	14件																							
在宅自己注射指導管理件数																								
糖尿病患者のうち在宅自己注射指導管理割合																								
(3) 健康寿命の延伸に向けた予防医療の推進	(3) 健康寿命の延伸に向けた予防医療の推進																							
<p>ア 市が実施するがん対策等に関する施策に協力し、がん予防に寄与すること。また、糖尿病については、合併症など重症化予防の医療に取り組むこと。</p> <p>イ 市民の健康維持や健康寿命の延伸に寄与するため、市と連携や協力し、予防医療の推進に努めること。また、健康に関する保健医療情報の発信及び啓発に取り組むこと。</p>	<p>ア 市が実施するがん対策等に関する施策に協力し、がん検診をはじめとする予防に積極的に取り組む。糖尿病等の生活習慣病対策を強化するほか、院内及び地域の医療機関と連携を図りながら重症化予防に取り組む。</p> <p>イ 市民の健康維持や健康寿命の延伸に寄与するため、市と連携や協力し、予防・医療の推進に取り組む。また、健康に関する保健医療情報の発信及び啓発に尽力する。</p> <table border="1" data-bbox="1025 1129 1778 1321"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん検診受診者数</td> <td>5,426人</td> </tr> <tr> <td>特定健診受診者数</td> <td>933人</td> </tr> <tr> <td>市民公開講座開催回数</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	がん検診受診者数	5,426人	特定健診受診者数	933人	市民公開講座開催回数	15回															
関連指標	平成30年度実績																							
がん検診受診者数	5,426人																							
特定健診受診者数	933人																							
市民公開講座開催回数	15回																							
3 患者に寄り添った信頼される医療の提供	3 患者に寄り添った信頼される医療の提供																							

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）												
<p>（1）医療安全対策・感染対策の徹底</p> <p>医療事故に関する情報の収集と分析を行い、医療事故の予防及び再発防止に取り組むこと。また、院内感染防止対策の確実な実施などにより医療安全対策を徹底すること。</p>	<p>（1）医療安全対策・感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員が患者の安全を最優先に、万全な対応を行うことができるよう、医療安全に関する情報の収集や分析を行うほか、医療事故の予防及び再発防止に取り組み、医療安全対策の徹底及び安全文化を醸成する。 院内で発生したインシデント・アクシデントについての報告を強化するとともに、その内容を分析し、全職員に周知することにより、再発防止に取り組む。 感染管理医師、感染管理認定看護師を中心に、感染に関する情報発信を積極的に行う。また、複数の医療従事者から構成するチーム（ICT・AST）による活動をさらに充実させ、院内での感染状況の評価や感染対策を的確に行う。 <table border="1" data-bbox="1025 611 1778 938"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全研修実施回数</td> <td>87回</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修参加延人数</td> <td>2,948人</td> </tr> <tr> <td>インシデントに対するアクシデントの割合</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>感染対策研修実施回数</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>感染対策研修参加延人数</td> <td>2,296人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	医療安全研修実施回数	87回	医療安全研修参加延人数	2,948人	インシデントに対するアクシデントの割合	1.3%	感染対策研修実施回数	24回	感染対策研修参加延人数	2,296人
関連指標	平成30年度実績												
医療安全研修実施回数	87回												
医療安全研修参加延人数	2,948人												
インシデントに対するアクシデントの割合	1.3%												
感染対策研修実施回数	24回												
感染対策研修参加延人数	2,296人												
<p>（2）医療の質の向上</p> <p>ア 診療科の枠を越えた多職種が連携するチーム医療や医療センターの機能の充実、強化を行うこと。また、クリニカルパスの充実による医療の質の標準化など医療の見える化に取り組むこと。</p> <p>イ 医療の発展に貢献するため、臨床研究及び治験に積極的に取り組むこと。</p>	<p>（2）医療の質の向上</p> <p>ア 医師・看護師及びメディカルスタッフ等が連携するチーム医療を更に充実させ、最適な医療を提供する。また、質の高い医療を提供するため、更なるクリニカルパスの充実を図り、医療の質の向上に取り組む。</p> <p>イ 基礎研究の成果を臨床の実用化につなげ、医薬品や医療機器の創出をめざし、臨床研究及び治験の推進に積極的に取り組む。</p>												

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）														
	<table border="1" data-bbox="1025 172 1778 504"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>42.0%</td> </tr> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>周術期口腔ケア件数</td> <td>1,559件</td> </tr> <tr> <td>服薬指導件数</td> <td>9,957件</td> </tr> <tr> <td>退院時リハビリテーション指導件数</td> <td>646件</td> </tr> <tr> <td>ACP実績件数</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	クリニカルパス適用率	42.0%	治験実施件数	15件	周術期口腔ケア件数	1,559件	服薬指導件数	9,957件	退院時リハビリテーション指導件数	646件	ACP実績件数	
関連指標	平成30年度実績														
クリニカルパス適用率	42.0%														
治験実施件数	15件														
周術期口腔ケア件数	1,559件														
服薬指導件数	9,957件														
退院時リハビリテーション指導件数	646件														
ACP実績件数															
<p>(3) 患者の視点に立った医療・サービスの提供</p>	<p>(3) 患者の視点に立った医療・サービスの提供</p>														
<p>ア 医療の中心は患者であることを常に認識し全ての患者の権利と人格を尊重するとともに、インフォームド・コンセントの徹底や患者の視点に立った環境整備に努め、心の通う医療を提供すること。また、地域で果たす役割や医療機能などについて、患者ニーズに合った情報発信を積極的に行うこと。</p> <p>イ 患者が満足し、患者に信頼される病院をめざし、患者の視点に立ったサービスを提供すること。</p>	<p>ア 堺市立病院機構の理念に基づき、安心・安全で心の通う医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者が積極的に医療に参加できる体制の整備を目的に、インフォームド・コンセントを徹底するとともに医療相談についても患者の視点に立って対応する。 ・ 当院の特色や疾患の治療方針、地域医療機関との連携状況、さらには高度急性期病院としての機能や役割について患者及び市民に対し、情報を積極的に発信する。 <p>イ 患者やその家族が院内で快適に過ごせるよう、待ち時間対策、療養環境整備及び安らぎと楽しみを提供し、患者満足の向上を図る。また、患者満足度調査や投書箱に寄せられた意見等に速やかに対応し、患者の視点に沿った病院づくりを進める。</p>														

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）																				
	<table border="1" data-bbox="1021 172 1778 547"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th colspan="2">平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査結果（満足の割合） 【入院】</td> <td colspan="2">89.4%</td> </tr> <tr> <td>患者満足度調査結果（満足の割合） 【外来】</td> <td colspan="2">81.1%</td> </tr> <tr> <td>相談窓口に寄せられた相談件数</td> <td colspan="2">18,179 件</td> </tr> <tr> <td>投書箱に寄せられた件数</td> <td colspan="2">341 件</td> </tr> <tr> <td>うちサンキューレターの割合</td> <td colspan="2">20.1%</td> </tr> </tbody> </table>			関連指標	平成30年度実績		患者満足度調査結果（満足の割合） 【入院】	89.4%		患者満足度調査結果（満足の割合） 【外来】	81.1%		相談窓口に寄せられた相談件数	18,179 件		投書箱に寄せられた件数	341 件		うちサンキューレターの割合	20.1%	
関連指標	平成30年度実績																				
患者満足度調査結果（満足の割合） 【入院】	89.4%																				
患者満足度調査結果（満足の割合） 【外来】	81.1%																				
相談窓口に寄せられた相談件数	18,179 件																				
投書箱に寄せられた件数	341 件																				
うちサンキューレターの割合	20.1%																				
4 地域への貢献	4 地域への貢献																				
(1) 地域の医療機関等との連携推進	(1) 地域の医療機関等との連携推進																				
<p>ア 地域医療構想を踏まえ、市立病院として担うべき医療機能を発揮し地域での役割を果たすため、紹介された患者の受入と患者に適した医療機関への積極的な紹介や開放病床の利用促進を行い、地域の医療機関との連携や協力を推進すること。</p> <p>イ 在宅医療については、地域包括ケアシステムの推進に向け、関係者との情報共有やネットワークの構築を図ることなど、医療施設としての役割を果たし、地域づくりに貢献するよう積極的に努めること。また、地域連携機能を強化し、医療関係者だけでなく介護関係者との連携関係の構築に取り組むこと。</p>	<p>ア 地域医療構想を踏まえ、市立病院として、また地域医療支援病院としての役割を果たすため、紹介・逆紹介、地域連携パスの活用、持参薬情報の共有、高度医療機器の共同利用促進等、病病・病診連携をより一層活性化させ、地域全体での最適な医療を提供する。また、開放病床の利用促進、オープンカンファレンスや研修会の開催により、顔の見える地域連携を実現する。</p> <p>イ 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域の介護施設も含めた関係機関との情報共有及び連携体制を構築し、切れ目のない医療を提供するとともに、在宅患者の急変時には診療の支援を行う。</p> <table border="1" data-bbox="1021 1177 2040 1318"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>73.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>78.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標	紹介率	73.8%		逆紹介率	78.3%										
目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標																			
紹介率	73.8%																				
逆紹介率	78.3%																				

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）										
	<table border="1" data-bbox="1025 172 1778 408"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域連携クリニカルパス数</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>地域連携パス適用患者数</td> <td>275件</td> </tr> <tr> <td>開放型病床利用率</td> <td>50.5%</td> </tr> <tr> <td>医療連携登録医数</td> <td>837人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	地域連携クリニカルパス数	19件	地域連携パス適用患者数	275件	開放型病床利用率	50.5%	医療連携登録医数	837人
関連指標	平成30年度実績										
地域連携クリニカルパス数	19件										
地域連携パス適用患者数	275件										
開放型病床利用率	50.5%										
医療連携登録医数	837人										
<p>（2）医療従事者の育成</p>	<p>（2）医療従事者の育成</p>										
<p>医療専門職の養成や医療従事者の育成に貢献すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当院の特性を活かした救急医療をはじめとする急性期医療に加え、地域医療等を学ぶ場として、幅広い医療系学生の実習等を積極的に受け入れ、地域医療の発展に寄与する優秀な人材の育成と医療の質向上に貢献する。 ・ 臨床教育研究センターの機能を強化し、初期研修及び後期研修を連動させたシームレスな医療人育成システムの充実を図る。 <table border="1" data-bbox="1025 847 1778 1083"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生実習受入人数</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>看護学生実習受入人数</td> <td>428人</td> </tr> <tr> <td>薬学部生実習受入人数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>研修医による学会発表件数</td> <td>77件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	医学生実習受入人数	93人	看護学生実習受入人数	428人	薬学部生実習受入人数	39人	研修医による学会発表件数	77件
関連指標	平成30年度実績										
医学生実習受入人数	93人										
看護学生実習受入人数	428人										
薬学部生実習受入人数	39人										
研修医による学会発表件数	77件										

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）
（3）健康を支える環境整備に向けた行政全般等との連携と協力	（3）健康を支える環境整備に向けた行政全般等との連携と協力
市立病院として、医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携に努めること。	市立病院として、医療、保健、福祉、教育などの行政機関との連携及び施策の推進に努める。
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
1 効率的・効果的な業務運営	1 効率的・効果的な業務運営
（1）自律性・機動性・透明性の高い組織づくり	（1）自律性・機動性・透明性の高い組織づくり
<p>ア 適切な権限委譲と効率的な業務運営を図ること。また、経営に関する企画立案機能の更なる強化を図り、各部門の業務分析や損益分析等により患者動向や医療需要等の変化に即した効果的な医療提供体制の整備に取り組むなど、戦略的な病院運営を行うこと。</p> <p>イ 外部評価等を活用し、効率的かつ効果的であり、また市民目線を活かした業務運営改善を組織全体で図ること。</p>	<p>ア 医療情勢の変化、更なる高齢化の進展、診療報酬の改定等の病院運営を取り巻く外部環境に迅速に対応するため、更なる経営企画機能の強化を図り、より質の高い病院運営ができる体制を確立し維持する。</p> <p>イ 監事や会計監査人による監査結果等を活用し、より戦略的な業務改善及び効率化を図る。また、市民の目線に立って業務を点検し、業務改善を行う。</p>
（2）法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）	（2）法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）
患者の権利を尊重し、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理に基づく適正な病院運営、個人情報保護と管理の徹底を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 患者及び市民からの信頼を確保するため、職員一人ひとりが医療提供者であるという意識を持ち、医療法をはじめ、関係法令の遵守を徹底し、市民から信頼される病院作りに努める。 法令及び行動規範の遵守を全職員が認識及び実践するため、周知徹底を図る。
（3）やりがいを感じ働くことができる職場環境の整備	（3）やりがいを感じ働くことができる職場環境の整備
職員の業績や能力を的確に反映し、職員のモチベーションの向上や人材育成につながる客観的な評価制度等の整備、運用を行うこと。また、職員のキャリアアップを支援し、職員一人ひとりが「やる気と誇り」を持って働くことができる環境整備を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 職員のモチベーション向上と組織の活性化を図るため、職員及び組織の業績や貢献度を客観的に評価できる制度を整備し、運用を行う。また、人材育成方針のもと、職員のキャリアアップ支援など、職員が働きがいを実感できる職場環境づくりを進める。

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）
<p>(4) 働きやすい病院づくり</p>	<p>(4) 働きやすい病院づくり</p>
<p>職員の健康を守り、一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、「働き方改革」に適切に対応することなど、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、働きやすい病院づくりに取り組むこと。また、家庭と仕事を両立し、子育てをしながら安心して働くための支援の充実に努めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「働き方改革」の観点から、医療業務のタスクシフティングに積極的に取り組み、職員の負担軽減に努めるとともに、時間外勤務の削減や有給休暇が取得しやすい職場環境を構築し、ワーク・ライフ・バランスの確保及び職員の健康保持に取り組む。 ・ 育児や介護等を行う職員が家庭と仕事を両立し、安心して働けるよう短時間労働時間制の整備や支援の充実に図り、柔軟で働きやすい職場環境づくりを進める。
第4 財務内容の改善に関する事項	第4 財務内容の改善に関する事項
<p>1 安定的な経営の維持</p>	<p>1 安定的な経営の維持</p>
<p>収入の確保と効果的な費用節減に取り組み、経常収支比率の目標を達成させ、安定的な経営を維持すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立病院としての役割を果たすとともに、増収対策及び費用の合理化により、安定した経営基盤を維持し、より自立した経営を行う。 ・ 医療を取り巻く環境の変化に迅速に対応できるよう、的確な経営分析を進めるとともに、地方独立行政法人のメリットを生かした、機動的かつ柔軟な病院経営を行うことにより、安定的な経常収支及び資金収支の維持を図る。また、診療材料及び医薬品は、市場調査に基づく価格交渉の継続実施や在庫管理の徹底、多様な契約手法の活用等により、一層の費用の削減を進める。

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）																																										
	<table border="1" data-bbox="1025 220 2040 735"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>99.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般病床利用率</td> <td>89.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>10.0日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入院患者数</td> <td>14,142人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>5,787件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全身麻酔件数</td> <td>3,222件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率 (数量ベース)</td> <td>90.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>156,054人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>235,377人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1025 786 1778 1066"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者1人1日当たり入院単価</td> <td>74,091円</td> </tr> <tr> <td>患者1人1日当たり外来単価</td> <td>23,794円</td> </tr> <tr> <td>給与対診療収入比率</td> <td>53.5%</td> </tr> <tr> <td>材料費対診療収入比率</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>経費対診療収入比率</td> <td>17.4%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標	経常収支比率	99.8%		一般病床利用率	89.1%		平均在院日数	10.0日		新入院患者数	14,142人		手術件数	5,787件		全身麻酔件数	3,222件		後発医薬品採用率 (数量ベース)	90.0%		入院延患者数	156,054人		外来延患者数	235,377人		関連指標	平成30年度実績	患者1人1日当たり入院単価	74,091円	患者1人1日当たり外来単価	23,794円	給与対診療収入比率	53.5%	材料費対診療収入比率	30.8%	経費対診療収入比率	17.4%
目標指標	平成30年度実績	令和5年度目標																																									
経常収支比率	99.8%																																										
一般病床利用率	89.1%																																										
平均在院日数	10.0日																																										
新入院患者数	14,142人																																										
手術件数	5,787件																																										
全身麻酔件数	3,222件																																										
後発医薬品採用率 (数量ベース)	90.0%																																										
入院延患者数	156,054人																																										
外来延患者数	235,377人																																										
関連指標	平成30年度実績																																										
患者1人1日当たり入院単価	74,091円																																										
患者1人1日当たり外来単価	23,794円																																										
給与対診療収入比率	53.5%																																										
材料費対診療収入比率	30.8%																																										
経費対診療収入比率	17.4%																																										
第5 その他業務運営に関する重要事項	第5 その他業務運営に関する重要事項																																										
<p>1 環境にやさしい病院運営</p> <p>省資源及び省エネルギーに取り組み、低炭素社会の形成に寄与する環境にやさしい病院運営に努めること。</p>	<p>1 環境にやさしい病院運営</p> <p>・ 省エネルギー化やゴミ分別の徹底及びリサイクル推進による廃棄物の減量等により、温室効果ガスの削減に取り組む等、環境負荷軽減を図り、環境にやさしい病院づくりを行</p>																																										

第3期中期目標（案）	第3期中期計画（案）								
	<p data-bbox="1041 135 1086 167">う。</p> <table border="1" data-bbox="1025 225 1780 411"> <thead> <tr> <th data-bbox="1025 225 1516 272">関連指標</th> <th data-bbox="1516 225 1780 272">平成30年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1025 272 1516 320">電気使用量</td> <td data-bbox="1516 272 1780 320">10,442,776 kWh</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1025 320 1516 368">ガス使用量</td> <td data-bbox="1516 320 1780 368">896,277 m³</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1025 368 1516 411">水道使用量</td> <td data-bbox="1516 368 1780 411">143,331 m³</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	平成30年度実績	電気使用量	10,442,776 kWh	ガス使用量	896,277 m ³	水道使用量	143,331 m ³
関連指標	平成30年度実績								
電気使用量	10,442,776 kWh								
ガス使用量	896,277 m ³								
水道使用量	143,331 m ³								